



平成 24 年度 (2012 年度)

LOOB JAPAN 事業報告書



☆ 目 次 ☆

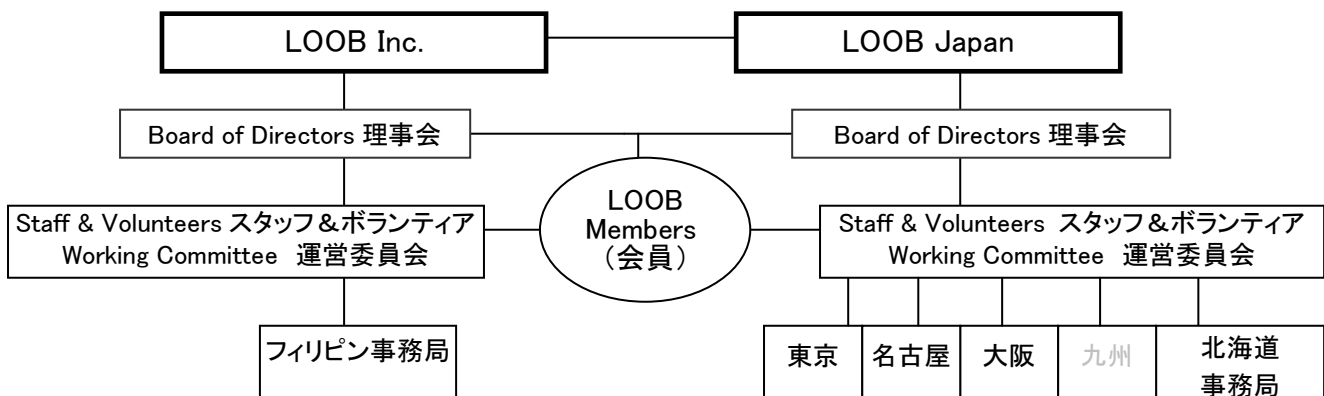
1. 概況経緯
2. 実施体制について
3. 事業に関する報告
 - ① 途上国における国際協力・国際交流・青少年育成プログラムの実施
(A.ワークキャンプ B.エコ・緑の活動 C.ごみ投棄場支援)
 - ② 途上国の子ども達への教育・医療支援
(A.教育サポート B.医療サポート)
 - ③ 途上国の困難な状況にある地域・世帯への物資支援
(A.物資・衣類支援)
 - ④ 国際理解のための日本文化・海外文化の普及
(A.英語研修 B.日本文化紹介)
 - ⑤ 国際協力および国際交流のための募金活動と広報の実施
(A.国際協力イベント B.カレンダー C.現地ユースプロジェクト)
 - ⑥ ニュースレターの発行

1. 概況経緯

2001年に設立された LOOB は、今年で 11 年目を迎えました。日本で大震災があった昨年は、フィリピン現地での活動の意義と持続可能性を考える大きなターニングポイントとなりましたが、今年はフィリピン青年ボランティアが主体性を高めて、自身の国の貧困問題を学び、解決に向けた実際的な行動を起こすことができた年となりました。本報告書を通して、多くの方々に LOOB の 2012 年度の活動と成果を知って頂ければ幸いです。

2. 実施体制

LOOB Organizational Chart (2012 年 12 月現在)



【LOOB 日本事務局】

非専従スタッフ 小林千恵子 (LOOB JAPAN 監事、北海道)

専従スタッフ 小林幸恵 (LOOB JAPAN/LOOB Inc 代表)

非専従スタッフ 菅野梢子 (LOOB JAPAN)

理事 9 名、監事 1 名

コアボランティア (関東約 10 名、関西約 10 名、中部約 10 名で構成)

会員約 100 名



【LOOB フィリピン事務局】

専従スタッフ JOHN LOOT (LOOB Inc. 理事)

専従スタッフ ROY TONDO (LOOB Inc. プログラムセクレタリー)

専従スタッフ DINAH ROSE ROJO (LOOB Inc. プログラムコーディネーター)

専従スタッフ ER ALAYON (LOOB Inc. プログラムコーディネーター)

非専従スタッフ DARYL DALIPE (LOOB Inc. メディカルスタッフ)

非専従スタッフ フィリピン人ボランティア約 25 名

専従スタッフ 日本人ボランティアスタッフ 4 名

数字で見る 2012年のダイジェスト

- 6回** 日本国内で実施した国際協力系イベント出展回数
- 75名** 教育サポートを受けた LOOB キッズ奨学生の数
- 130名** LOOB のキャンプ&ツアーに参加した日本人の数
- 約 630人** 日本人と交流したフィリピンの子どもの数
- 876,630円** LOOB と ULCA のフェアトレード取引額
- 40箱** 日本から贈って頂いた物資や衣類の箱
- 400部** LOOB で完売したカレンダー部数
- 25回** 2地域で実施した週末アクティビティの総数
- 11回** キャンプ&ツアー&キッズキャンプの実施回数
- 8回** 現地ユースによる Fund Raising プロジェクト実施回数

3. 事業に関する報告

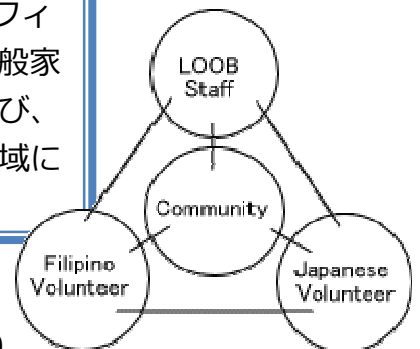
① 途上国における地域協力・交流・青少年育成プログラムの実施

(A) ワークキャンプ事業

<http://www.loobinc.com/wc01.html>



LOOBが創立時から注力しているワークキャンプ事業は、日本とフィリピンの各地から集まったボランティアの参加者がフィリピンの一般家庭にホームステイしながら、現地青年ボランティアと共に問題を学び、小規模インフラ整備/環境改善/子ども達のための活動を通して地域に貢献するプログラムです。



2012年は、7つのパートナー・バラングイで、計11回のワークキャンプ（うち3回はスタディツアー受入のみ）を開催し、日本から130名の参加者を受け入れました。このワークキャンプの事業収入は、総収入の約8割を占め、団体理念の達成および財政基盤としても、活動の重要な柱となっています。

2012年に実施したワークキャンプ&スタディツアー

<p>1. 第2回ExSeedスタディツアー 2012年2月8日～2月18日</p> <p>ジャーナリスト市川亮とのコラボで実施したスタディツアー。ゴミ山での緑化活動やフェアトレード製作体験のほか、戦争体験を聴くピースセミナーなどを実施。</p> <p>http://www.loobinc.com/WORKCAMP/tieup_exseed02.html</p>
<p>2. 第46回日韓比マングローブ植林キャンプ (PJK5) 2012年2月19日～2月27日</p> <p>バロタックビエホ町又エバセビリア村で開催する5回目のキャンプ。マングローブ植林により漁業資源の回復を目指し、村人とともに計7,335本を植樹。</p> <p>http://www.loobinc.com/WORKCAMP/46pjk_rep.html</p>
<p>3. 第2回大阪教育大学MERRY教育系ワークキャンプ 2012年2月27日～3月6日</p> <p>教育大学生がフィリピンの教育現場の視察や小学校の授業を通じて実地経験を積みました。現地の大学生との意見交換したり、教育省に派遣される青年海外協力隊 (JOCV) との交流も。</p> <p>http://www.loobinc.com/WORKCAMP/tieup_merry02.html</p>
<p>4. 学生 NGO「ALPHA」学校建設キャンプ 2012年3月7日～3月18日</p> <p>2008年から毎年続いているALPHAによる学校教室建設プロジェクト。5回目のキャンプで、遂にナティビダッド小学校の最後の教室を完成しました！</p> <p>http://www.loobinc.com/WORKCAMP/tieup_alpha03.html</p>
<p>5. 第47回ギマラス島ワークキャンプ 2012年3月19日～3月31日</p> <p>海洋保護地区のために漁法が禁止され、エコツーリズムを模索するギマラス島南部の村で、ボート組合が利用する栈橋を建設した (栈橋建設は通算3回目で、全長200メートルを完成させるため次回のキャンプに引き継がれます) http://www.loobinc.com/WORKCAMP/47rep.html</p>
<p>6. 第48回キッズキャンプ 2012年5月4～6日</p> <p>美しい自然を愛する心と社会性を育むキッズキャンプは今年で通算7回目。3つの地域から45名の子どもが参加し、日比のキャンプリーダー10名の下で野外炊飯やゲームを通して環境保護について学んだ。</p> <p>http://www.loobinc.com/WORKCAMP/48rep.html</p>
<p>7. 学生 NGO「ALPHA」学校建設プレキャンプ 2012年8月15日～8月26日</p> <p>6回目となる今キャンプはランブナオ町の中心に近いコナロム小学校での教室建設ワークを行った。</p> <p>http://www.loobinc.com/WORKCAMP/tieup_alpha04.html</p>
<p>8. 創価大学SCNワークキャンプ 2012年8月25日～9月5日</p> <p>英語研修によるチームビルディングを実施し、4回目の栈橋建設に参加してもらいました。全長200メートルを完成させるため次回のキャンプに引き継がれます。</p> <p>http://www.loobinc.com/WORKCAMP/tieup_scn.html</p>
<p>9. その他、JICA 教師研修受け入れ (2回)、お茶の水スタディツアー受け入れ</p> <p>在先コミュニティの小学校でトイレ用の雨水貯水槽を建設したほか、2つの小学校で授業を担当し、環境や食育に関して子ども達に啓蒙活動を行った。</p> <p>http://www.loobinc.com/WORKCAMP/tieup_jica.html</p>

(B) エコ&グリーン活動

<http://www.loobinc.com/mangrove.html>



フィリピンでは、環境保護に関して政府・市民レベルでの意識が非常に低く、経済成長に合わせて環境破壊も急速に進んでいます。LOOBでは2006年にギマラス島で発生した重油タンカー沈没事故をきっかけに、フィリピンの環境保全と住民の啓蒙を旨としてさまざまな環境保護活動を行っています。

《マングローブの森を再生する》

2012年は、ギマラス島ヌエババレンシアと、パナイ島バロタックビエホの2地域で計8,393本のマングローブ植林を行い、2007年8月から通算13回で累計植樹数は、107,223本となりました。これはフィリピン天然環境資源省(DENR)が目標とするマングローブ回復面積83,000ヘクタールのうち、約10.7ヘクタールをLOOBで寄与した計算になります。(担当スタッフ:ROY)

《ごみ山を緑の山に》

イロイロ市投棄場を管理する市公共サービス局と協力し、ごみ山の植林活動を行っています。LOOBでは2012年に計300本のアカシア、マホガニーを植樹し、2011年から通算6回で累計植樹数は550本になりました。ごみ山の植林が進むことで、生ごみの悪臭が抑えられ、ごみ山の火事を防止することにも役立っています。(担当スタッフ:ROY)

《子ども達の環境教育》

LOOBが支援する3つの地域の子ども達を対象に、「自然を愛する心を培う」をテーマにした無人島キッズキャンプを年2回実施しました。また2012年はJICAフィリピンとスウェーデン環境NGO、Skogsmulleが開催した環境教育セミナーにLOOBスタッフが参加し野外教室の手法を学びました。この経験を応用し、教育サポートの一環として実施している週末アクティビティにおいて、「自然観察、ミニ地球の製作、命のサイクル」、「ごみ分別、3R、リサイクル文房具」、「環境汚染とその影響について」などのテーマで小学校から高校生までの子ども達を対象にした環境教育を行いました。(担当スタッフ:DINAH)

(C) カラフナンごみ投棄場周辺住民支援事業

<http://www.loobinc.com/sm01.html>



6年目となるイロイロ市カラフナンごみ投棄場での活動です。プロ野球選手の岩隈久志選手やせっけんのLUSHの協力で建設したUCLAラーニングセンターで活動しています。このセンターは、住民に広く利用され、ごみ投棄場で働く人々にとって自立に向けたシンボリックな存在となっています。

《UCLA 裁縫部門》

2012年は、LOOBからUCLA裁縫部門への支援額が前年度から約2倍の90万円弱となりました。技術向上セミナーを開催する代わりに、LOOBスタッフが小まめにUCLAセンターを訪問してコミュニケーションを取り、タイミング良く発注を入れ続けたことが良かったようです。若手メンバーを入れることはできなかったものの、現行の母親メンバー達で生産能力を引き上げることができたといえます。(担当スタッフ：DINAH、たるやん)

《チャイルドマインディング》

2012年も月水金の夕方の時間に、裁縫メンバーやごみ投棄場で働く人々の子どもを預かる無償託児サービスを実施しました。子ども達が安全に、かつ学びのある時間を過ごすことができるよう、LOOBの日本人・フィリピンユースメンバーが協力して、読み聞かせなどを行っています。毎回約20~30人ほどが遊びに来ています。この活動をすることで、子ども達の危険を回避することができるだけでなく、LOOBユースメンバーとカラフナンの子ども達の重要なコミュニケーションの場となり、さらにこれがLOOBとカラフナン全体のスムーズな関係構築にも役立っています。(担当スタッフ：ER)

② 子ども達への教育・医療支援

(A) 子ども教育サポート

<http://www.loobinc.com/edu01.html>



フィリピンの小学生は4人に3人、高校生では2人に1人しか卒業できないほど、ドロップアウト率が問題になっています。子どもの就学から卒業までを応援するため、LOOBでは3つの地域で「経済的な理由で学業の継続が困難であり、卒業に意欲的な子ども」を対象に教育サポートを行っております。

2011年は、教育サポート会員とチャリティイベントやカレンダー販売の収益から計**75名**の小学生、高校生、大学生を支援しました。

《学資援助》

- ギマラス島ヌエババレンシア町 (10名)
- パナイ島ナムコン村 (11名)
- イロイロ市カラフナン地区 (50名)
- その他の地域 (2名)
- 大学生 (2名) **合計75名支援**

《子ども英語アクティビティ》

子ども達の英語力とアート表現力を引き上げるための青少年育成・野外活動を行っています。日本とフィリピンのボランティア達が10名前後集まり企画～実施～評価までのプロセスを行っています。2012年は計33回のアクティビティを実施。

- パナイ島ナムコン村(参加人数20人前後)
- イロイロ市カラフナン地区(60名前後)

《食育、栄養スナック販売プロジェクト》

2012年3月までに、味の素KKの助成による2年間の事業が修了しました。それ以降は、支援していた小学校が自ら学校給食を継続し、LOOBでは給食とオーガニック菜園のモニタリングのみを行いました。

(B) 子ども医療サポート <http://www.loobinc.com/med01.html>

◀竹の義足基金▶

アンヘリト君の竹の義足を提供してから2年がたち、成長できつくなかったので、彼の父親とともに2本目の竹の義足を製作しました。LOOBでは、竹義足を希望する現地の子ども達に助成金を設定して募集しています。次年度も引き続き希望者を探していく予定です。それ以外の医療サポートの新たな対象者はいませんでした。

③ **困難な状況にある地域・世帯への物資支援**

(A) 物資・衣類寄贈 <http://loobinc.com/dn01.html>

日本の支援者から頂いた物資は、12月11日フィリピンミンダナオ島で発生し、1,000名以上の犠牲者を出した台風24号の被災者向けに寄贈させていただきました。

④ **国際理解のための日本文化・海外文化の普及**

(A) 英語研修&ソーシャルアクション <http://www.loobinc.com/eng01.html>

フィリピン大学 (UP) ビサヤのランゲージセンターと提携し、日本人の英語学習者に対して、英語研修やフィリピン文化への理解を深めるための交流プログラムを行っています。2012年度から現地ユースプロジェクトの一環として、運営を現地に移管しました。

(B) 日本文化普及 <http://www.loobinc.com/jp01.html>

イロイロ市のディナギャン祭りでの日本料理紹介を行いました。
またLOOBフィリピン人スタッフの海外研修としてROY、DINAH、ER、JOHNの4名を日本に招へいし、2週間の日程でSkogsmulle国際シンポジウム (六甲山)、ホームステイ、小学校訪問、大学訪問、現地活動報告会などを行いました。いつも日本人ボランティアを温かく迎えてくれるフィリピン人メンバー代表として、日本を実際に体験する機会となり、今後の活動に活かして行ってほしいと思っています。

⑤ **国際協力および国際交流のための募金活動と広報の実施**

(A) 国際協カイベント <http://loobinc.com/charity.html>

- 大阪ワンワールドフェスティバル (2月4-5日) LOOB JAPAN関西が出展
- アースデイ神戸 (5月4-5日) LOOB JAPAN関西が出展
- グローバルフェスタ (10月6-7日) LOOB JAPAN関東が出展
- よこはま国際フェスタ出展 (10月20-21日) LOOB JAPAN関東が出展
- 環境フェアくるるんきたみ (6月23日) にLOOB JAPAN北海道が出展

(B) 説明会・交流会・広報活動

他団体と合同のスタディツアー説明会を、東京・大阪でそれぞれ1回ずつ実施し、春・夏の現地プログラムの希望者に対し、説明を行いました。

(C) カレンダープロジェクト http://www.loobinc.com/form_calendar.html

2012年のLOOBカレンダーは「Welcome to Our School」をテーマに大阪教育大学の学生と現地スタッフが協力して、取材・製版までを手がけました。368部を販売した収益で2013年度15名の子ども達の就学を支援する予定です。

(D) ユースプロジェクト

現地 NGO LOOB11 周年の総会 (General Assembly) が6月29日に開かれ、今後10年間は、若者に社会参加を促し、地域に貢献できるプログラムを主導できる人材を育てていくユースプロジェクトを立ち上げることが決まりました。短期目標として「教育サポート」の資金を現地で調達することと設定し、募金活動や収益活動のアイデアをまとめました。そして実際に2012年末までにフィリピン・日本人のユーススタッフ&ボランティアが7回のFUND RAISING イベントを実施しました。これらの活動を通して最終的に、10名ほどの子ども教育サポート基金を生み出すことができました。努力と結果をつなげて、「自分達の力で少しでも社会を変えていける」という希望を皆で感じていければと思っています。

- ❖ めいぐるみフリマ (4月22日)
- ❖ イロイロ在住邦人向け、ごみ問題ワンデーアー (6月30日)
- ❖ 物販イベント@Seafdec (7月13日)
- ❖ インターナショナル・ユースキャンプ (8月10~12日)
- ❖ パナイ島の戦いと日本人の歴史を知るをワンデーツアー (9月22日)
- ❖ めいぐるみフリマ (10月26日)
- ❖ クリスマスキャロリング (12月16~24日)
- ❖ クリスマス Year End Party (12月29日)

⑥ ニュースレターの発行

1月と7月の2回「LOOBニュースレター」を発行しました。約200人の会員に配布するとともに、ホームページ上でもPDF版を無料配布しました。



2012年に私たちLOOBの活動を支えて下さった全ての方々に心より感謝申し上げます！
LOOBスタッフ&メンバー 一同